秋田ISLS/PSLSコースに関する意識調査のお願い

皆様にはいつも秋田ISLS/PSLSコースにご協力いただき誠にありがとうございます。

コロナ禍での当コースの運営について、新たな形で再開するための資料として、意識調査を行いたく、ご協力をお願いします。現在、当コースには、ワークショップで使用している視聴覚教材があります。その内容はコース概要、意識の評価（10例）、神経重症度の評価、呼吸循環のアルゴリズム、症例提示の概要です。この調査後に、神経重症度の評価、呼吸循環のアルゴリズムの改定を行い、仕上がった視聴覚教材を利用して新たなコース運営を考えております。秋田市消防局にある意識障害症例の動画も利用の幅を広げていく予定です。

脳卒中救急医療研究会　代表世話人　鈴木明文

当てはまるところに○で、（　）の部分は自由記載でお願いします。

**１）あなたのことについて教えてください。**

1. 性別：男・女・その他
2. 職業：医師・看護師・救急救命士・その他病院関係者・その他消防関係者・その他（　　　　　　）
3. 職業年数：5年未満・5年〜10年未満・10年〜15年未満・15年〜20年未満・20年〜
4. コースの資格：コーディネーター・ファシリテーター・コース受講者・その他
5. コース経験数：〜5回・6〜10回・11〜20回・21〜30回・31回〜
6. 勤務地：秋田・青森・岩手・その他（　　　　　）

**２）今後のコース運営についてあなたの考えを教えてください。**

1. コース継続の是非について

継続・不要・わからない（理由：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

わからないと回答の方は理由をお願いします。

**◆**不要と回答の方はここで質問は終了です。ありがとうございました。

1. コース運営の形式について

対面のみ・対面とWebの双方・Webのみ・その他

その他と回答の方は理由をお願いします

1. 対面とWebの双方と回答の方はその割合について

（対面；　　：Web；　　）

1. コース運営の工夫について

感染対策・Web環境整備・その他

その他と回答の方は自由記載をお願いします。

**３）コース内容の検討について**

＊テクニカルスキルとは、専門的な技量・能力・知識などを獲得すること

＊ノンテクニカルスキルとは、チーム力・コミュニケーションなどの能力を獲得すること

＊ここでの両方の定義は、それぞれのスキルが同じ程度の状況にあること

３−１）ISLSに関して（習得の際に重要と思われるものに○をつけてください）

1. 意識の評価　　　　　　　　　　：テクニカルスキル・ノンテクニカルスキル・両方
2. 神経重症度の評価　　　　　　　：テクニカルスキル・ノンテクニカルスキル・両方
3. 呼吸・循環（ISLSアルゴリズム）：テクニカルスキル・ノンテクニカルスキル・両方
4. コラボレーション　　　　　　　：テクニカルスキル・ノンテクニカルスキル・両方

３−２）PSLS/PCECに関して（習得の際に重要と思われるものに○をつけてください）

1. 意識障害の評価　　　　　：テクニカルスキル・ノンテクニカルスキル・両方
2. PSLS/PCECアルゴリズム：テクニカルスキル・ノンテクニカルスキル・両方
3. 脳卒中スケール　　　　　：テクニカルスキル・ノンテクニカルスキル・両方
4. コラボレーション　　　　：テクニカルスキル・ノンテクニカルスキル・両方

**４）e-learningが可能と思われる内容はどれですか。**

４−１）ISLSに関して

意識の評価・神経重症度の評価・呼吸・循環（ISLSアルゴリズム）・コラボレーション

４−２）PSLS/PCECに関して

意識障害の評価・PSLS/PCECアルゴリズム・脳卒中スケール・コラボレーション

**５）e-learning以外でも対面からの代替が可能と思われる内容はどれですか。また、具体的な代案がありましたらお答えください。**

５−１）ISLSに関して

1. 意識の評価　　　　　　　　　：代案（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
2. 神経重症度の評価　　　　　　：代案（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
3. 呼吸・循環（ISLSアルゴリズム）：代案（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
4. コラボレーション　　　　　　：代案（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

５−２）PSLS/PCECに関して

1. 意識障害の評価　　　　　：代案（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
2. PSLS/PCECアルゴリズム：代案（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
3. 脳卒中スケール　　　　　：代案（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
4. コラボレーション　　　　：代案（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

代案例：脳卒中救急医療研究会のHPに考えられるQ＆Aを提示しておく、メールなどで質問や疑問を受け付けて回答する、など。

ご協力ありがとうございました。